

# 茨城地区会だより

## 第39回茨城地区会総会研修会に参加して



NHO 茨城東病院

橋本花保

令和1年6月1日(土)茨城県南生涯学習センターにおいて、第39回国臨協関信支部茨城地区会定期総会・研修会が開催されました。当日は多数の会員参加がありました。来賓として国臨協関信支部から岩崎支部長と石田理事のご臨席を賜りました。

始めに定期総会では平成30年度の各種報告、次年度の事業方針・会計予算などが審議され会員の承諾をもって無事終了致しました。

続いて、研修会では「連絡事項ならび会員の皆様に向けて」と題し、北沢敏男臨床検査専門職からご講演を頂きました。国立病院機構の現状や認定資格の取得状況を聴講することで、私自身スキルアップのために多くの研修会や学会発表、認定試験などいろいろなことに挑戦していきたいと思いました。

続いて、国立感染症研究所感染症疫学センター第二室長の砂川富正先生より「ワクチン接種の重要性とその限界」についてご講演を頂きました。ワクチンとは病気を制御・排除・根絶をするのに重要であり、ワクチンにより患者が減っても病気の脅威を忘れてはいけないと改めて感じる事ができました。

また、ワクチンについての必要性や現状を知ることができ大変参考になりました。

定期総会・研修会終了後には場所を移し懇親会が行われました。和やかな雰囲気の中、他施設の先輩方より多くのお話を伺うことができ新人の私にとっては有意義で楽しい時間を過ごすことができました。

最後になりますが、講演して頂いた北沢敏男臨床検査専門職、砂川富正先生、岩崎支部長、石田理事、ならびに茨城地区会役員の皆様に心より御礼申し上げます。

